

特徴の似ているミナミハンドUILカたち～口元編～

ミナミハンドUILカの個体識別を行う際には体の傷跡やヒレの特徴に注目しますが、口元が識別ポイントとなる個体もいます。今回は、そのなかでも似た特徴をもったUILカたちを集めてみました。識別する際は、早とちりに要注意！？

#5・♂
コブン



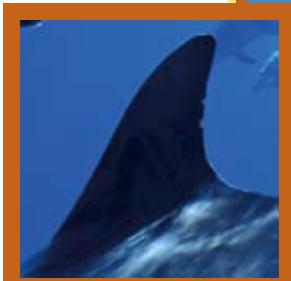
2001年から確認されている個体。父島列島だけではなく、智島列島での観察記録も数回ある。右側の口元に特徴あり。背ビレはギザギザしている。

#118・♂
フック



2005年が初確認。観察記録は父島列島のみ。左右の口元に切れ込みがあり、特に左側から見た横顔が#173とよく似ている。背ビレに大きな欠けがあるのがポイント。

#173・♀
ミカワ



提供：鈴木絵美子

2006年から確認されており、出産記録は1回。これまで智島列島でしか観察されていない。#118と口元がそっくりなため、識別の際は背ビレや胸ビレも確認しよう。

#273・♂
モグオ



2011年から確認されている個体。父島列島での観察記録のみ。左右の口元に切れ込みがある。左側にはミミエボシが付着しているのが識別ポイント。背びれは比較的きれい。

この夏生まれた赤ちゃんUILカのおはなし

8月25日、智島列島にて#296（ノハジマ）が胎児線のある赤ちゃんを連れているのを確認しました。2014年に出会って以降、初の出産記録になります。この親子、5日後の8月30日には父島列島で確認され、赤ちゃんUILカも元気に泳いでいたわけなのですが・・・。なんと、9月26日の調査で出会った際には、赤ちゃんUILカの尾柄部に痛々しい傷ができているではありませんか。早く良くなってくれると良いのですが。今後しばらく経過を観察していきたいと思います。

#296と赤ちゃんUILカ



cheer up(チアアップ：元気をだして、頑張って！)の願いを込めて「チア」とニックネームをつけました。